

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 9月30日・3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
公告の方法	下記ホームページに掲載する。 http://www.nsg.co.jp/
会計監査人	新日本有限責任監査法人

ご住所変更などのお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様の株式につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(最低取引単位に満たない1~999株の株式)をご所有の場合、当社に対して、

- (1) 買取請求または
- (2) 買増請求(ご所有の単元未満株式と併せて1単元(1,000株)に達するまでの株式を買い増すこと)をすることができます。

お手続きの詳細につきましては、一般口座ご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社までお問い合わせください。特別口座の株主様(証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様)につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

郵便物ご送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話ご照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)

会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	日本板硝子株式会社
本店	〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号 (住友不動産三田ツインビル西館) TEL: 03-5443-9500
設立	1918年11月22日
従業員数(連結)	27,463人
資本金	116,449 百万円
上場証券取引所	東京(証券コード: 5202)
お問い合わせ	http://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us

お知らせ

第150期定時株主総会の議決権行使結果につきましては、臨時報告書により、インターネット上で、EDINET(<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>)に掲載されるとともに、当社ホームページ(<http://www.nsg.co.jp/>)においても開示されます。これらをもって決議通知に代えさせていただきますので、ご了承ください。

ホームページのご案内

当社グループのホームページでは、決算情報や最新プレスリリースなど、様々な情報を掲載しております。どうぞご利用ください。

<http://www.nsg.co.jp/>



株主の皆様へ

日本板硝子株式会社
第150期 報告書
2015年4月1日 ~ 2016年3月31日

「ガラス技術で世界に変革を」

証券コード: 5202

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループの第150期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の概況についてご報告申し上げます。



日本板硝子株式会社
代表執行役社長兼CEO

森 重樹

2016年3月期の総括

当期を振り返り、総括いたしますと、大きく次の3点に集約されます。

- ディスプレイ事業における競争の激化や新興国における需要の低迷により、2016年3月期には多額の一過性損失を計上することとなりました。その主な要因は、事業環境の変化に対する当社の対応力に課題があったことです。今後の事業運営においては、変化に対する迅速な対応や、将来リスクの予見と管理についてより厳しく進めてまいります。
- 一方、これまでのリストラクチャリングやコスト削減の効果により、基幹事業においては営業利益の継続的な改善が果たされており、事業体質が着実に強化されているものと考えております。
- また、薄膜ソーラー用ガラスや建築事業分野における各種機能製品など、高付加価値製品のウエイ

トは着実に増加しており、中期経営計画(MTP)で当社が目指す「VAガラスカンパニー」への変革は進みつつあります。

これらの総括を踏まえ、2017年3月期、2018年3月期も、事業の改善と高付加価値化により増収増益を図っていくという、中期経営計画(MTP)の基本方針は変わらず、それぞれの事業で取り組んでいる成長戦略をより一層加速させていくことに注力してまいります。

当期においては、不採算事業からの撤退や経済環境の厳しい新興国における資産の減損等により多額の一過性損失の計上を行いました。これにより大幅な最終損失の計上に至ったことは、誠に遺憾であり、経営として重く受け止めております。

中期の経営方針について

当社は長期戦略ビジョンとして「VAガラスカンパニー」を目指すことを掲げています。

「VAガラスカンパニーを目指す」とは、具体的には以下のような変革を進めることを指しています。

- ガラススペシャリストとして、高い信頼を獲得する
- 製品とサービスを通じて、世界中の様々なお客様と密接に協働し、お客様が求める価値を提供する
- 事業構造を転換し、伝統的なコモディティ(汎用品)中心のビジネスモデルから、より高付加価値(VA)の製品・サービスを中心に据えたビジネスモデルへ転換する

各事業分野においては、さらにこれを具体化し、以下のとおり、追求していきます。

建築用ガラス

安全・省エネ/創エネ・健康/快適・デザイン性など拡大するニーズに対応し、ガラスを通して各種の価値を提供していきます。そのために、コモディティ製品からVA製品への転換を図っていきます。

自動車用ガラス

自動運転技術・IT化・安全/快適の追求・より洗練されたデザイン性などの自動車の進化に対応し、ガラスの付加価値を拡大していきます。また、補修用ガラス分野でも、より付加価値の高いサービスを提供していきます。そのために、ものづくりの高い技術をベースにVA化を一層進めていきます。

高機能ガラス

情報通信技術や様々な特徴ある産業用分野で新たな成長を創造していきます。そのために、研究開発、市場開発機能をさらに強化していきます。

また、全社的な課題として、間接費用のさらなる削減を推し進めるとともに、資産流動化も含め、運転資本と設備投資の徹底した管理および営業キャッシュ・フローの増大により、着実な負債削減と金融費用削減を進めていきます。

現在取り組んでおります中期経営計画(MTP)につきましては、その基本方針において変更する点はないと考えておりますが、目標達成に向けてさらなるスピードアップが必要です。

上述の方針に則り、2017年3月期は、事業収益の改善活動をより一層加速し、営業利益の増加と、キャッシュ・フローの増大による負債削減と金融費用削減を進め、より安定的な事業体質の構築にまい進する所存です。

配当について

当社グループは持続可能な事業の業績をベースにして、安定的に配当の支払いをすることを利益配分の基本方針としておりますが、当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら実施を見送ることとさせていただきます。株主の皆様には、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。当社グループは、配当が株主の皆様にとって重要なものであることを認識しており、今後、少しでも早く復配できるよう収益改善に全力を傾けていく所存であります。

最後に

当社は、2018年に創立100周年を迎えますが、将来にわたり当社グループがさらなる発展を遂げるよう、全社一丸となって株主価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月7日

日本板硝子株式会社
代表執行役社長兼CEO

森 重樹

トピックス

イタリアのエジプト博物館に「OptiView™ Protect OW」が採用

2015年4月にリニューアルオープンしたイタリア・トリノのエジプト博物館には当社グループのVAガラス製品が延べ2,000平方メートル以上使用されています。

貴重な収蔵品を展示する環境としては、安全性が第一であり、ショーケース103基とキャビネット70台に用いるガラスは、展示物が良く見えること、破壊行為や盗難に強いこと、さらには有害な紫外線から展示物を守ることが絶対条件でした。また、収蔵品が17世紀の建物にそのまま置かれているかのように見せるため、建物と展示空間の完璧な融合が求められました。

OptiView™ Protect OWは、合わせガラスとしての総合的な安全性に加え、低反射性や超高透明性を誇り、これらの条件を満たすことから、採用されました。



Photo : Pino & Nicola Dell'Aquila

真空ガラス「スペーシア® クール」が福岡市庁舎の省エネに貢献

当社の真空ガラス「スペーシア® クール」が、改修後の福岡市庁舎の窓ガラスに採用され、同市庁舎西面(2~14階)の既存窓ガラス670枚が「スペーシア® クール」へ取り替えられました。「スペーシア® クール」は、優れた断熱性能を有する真空ガラス「スペーシア®」に日射遮蔽性能を付加した製品で、年間を通じて大きな省エネ効果を発揮することができます。

同市庁舎は、窓ガラス寸法も大きく、特に西面は西日が直接差し込むため、夏場の暑さ対策(冷房費用削減)が問題となっていました。改善策として遮熱フィルムによる対策も検討されましたが、「スペーシア® クール」の高い日射遮蔽性能や、施工が簡単で工期が短いこと、将来的なメンテナンス費用も抑えられることから、当製品が採用されました。



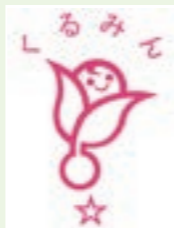
福岡市庁舎(福岡市提供)

子育てサポート企業として「くるみん」認定を受けました

当社は、2015年12月4日付けで次世代育成支援対策推進法(「推進法」)に基づく「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から「くるみん」認定を受けました。

当社は、出産・育児に関する社内制度・公的制度の社内周知を行い、①男性の育児参加促進を図ること、および、②育児・介護支援制度についてより利用しやすい制度を作ることの二つの目標を達成し、それが評価され今回の認定に至りました。具体的には、男性社員の育児休業取得、社員介護休職規程の改定、および育児休職規程の短時間勤務措置の対象期間の拡大を実現しました。

2015年9月から新たな行動計画期間に入り、引き続き男性社員の育児参加促進を図ることと、新たにワークライフバランスの改善を図ることの二つを目標に掲げています。当社は、これからも子育てを積極的に支援し、誰もがより働きやすい企業となるよう、取り組んでまいります。



連結業績ハイライト

連結損益計算書(要旨)

	第150期 (2016年3月期) (2015年4月1日~ 2016年3月31日)	第149期 (2015年3月期) (2014年4月1日~ 2015年3月31日)
売上高(百万円)	629,172	626,713
営業利益(百万円)	19,362	16,848
税引前利益(△は損失)(百万円)	△37,439	4,807
当期利益(△は損失)(百万円)	△47,500	2,893
親会社の所有者に帰属する当期利益(△は損失)(百万円)	△49,838	1,668
親会社の所有者に帰属する基本的1株当たり当期利益(△は損失)(円)	△55.18	1.85

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	第150期 (2016年3月期) (2015年4月1日~ 2016年3月31日)	第149期 (2015年3月期) (2014年4月1日~ 2015年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,789	24,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,401	△23,192
(フリー・キャッシュ・フロー)	△4,612	1,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,908	7,295
現金および現金同等物の期末残高	46,162	62,340

連結貸借対照表(要旨)

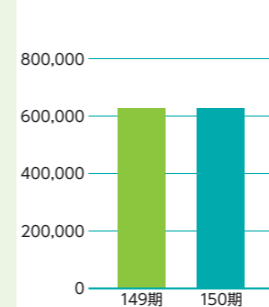
	第150期 (2016年3月期) (2016年3月31日)	第149期 (2015年3月期) (2015年3月31日)
非流動資産	571,417	652,964
流動資産	240,703	267,142
資産合計	812,120	920,106
負債合計	700,109	734,098
資本合計	112,011	186,008
負債および資本合計	812,120	920,106

事業別連結売上高構成比

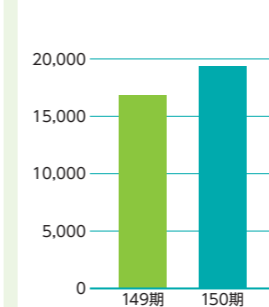


● 建築用ガラス 欧州	15%
● 建築用ガラス 日本	11%
● 建築用ガラス 北米	6%
● 建築用ガラス その他地域	10%
● 自動車用ガラス 欧州	22%
● 自動車用ガラス 日本	9%
● 自動車用ガラス 北米	14%
● 自動車用ガラス その他地域	5%
● 高機能ガラス	8%

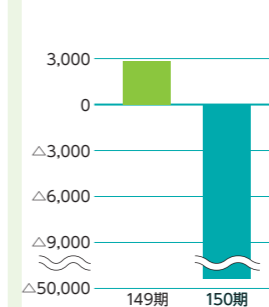
売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



当期損益 (単位:百万円)



注: 当社は、第146期より国際会計基準(IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しています。
当社は、当期より営業利益の定義を変更し、上記の営業利益については、個別開示項目ベースの営業利益を記載しています。